

報道・メディア関係各位

## 5/21(日)「掘り出し市」を開催 埼玉県三郷市に根付いた地域行事へと進化

松井産業株式会社(本社：埼玉県三郷市、代表取締役社長：松井宏之)は、2017年5月21日(日)の10:00～15:00、埼玉県三郷市彦成1-1 松井産業本社において、「掘り出し市」を開催いたします。

この行事は2000年より毎年開催される恒例行事となっており、地域の住民や松井産業とお付き合いのあったお客様約5～600人が参加します。

受付後はどなたでも無料で入場できます。

### 1. 通常のバザーとは違う地域密着度

「掘り出し市」は当初、木材の端材やクギ、ブロック、塗料などの建築資材の在庫一掃セールとして始まり、格安であることが評判を集めました。

その後、松井産業のお客様・従業員・お取引先様が、春野菜や日用品なども含め、商品を持ち寄ってバザーを開催するようになりました。例年、皆さんが使わずに大切に取っていた物、捨てるにはもったいなくて活用してもらいたいもの3～4,000点の商品が当社の呼びかけで集まります。それらを主に10円～100円の格安で販売するとあって、開始前には長蛇の列ができるほど大盛況のイベントとなっています。

売り上げは災害被災地や赤十字に義援金として寄付されます。



## 2. 地域に合わせて企業も変わる

このような行事が生まれる背景には、松井産業が創業時から「地域のお役立ち企業」であり続けてきた歴史があります。

1922年（大正11年）に当社の前身、松井商店は呉服商として創業しましたが、お客様である周辺の農家は現金で呉服代を支払うことができず、米で支払いを受けることもしばしばありました。その米を売るために米穀商となり、戦後は農家の求めに応じて肥料や藁工品を販売し、復興期の食糧増産を支えました。

さらに農家には副業として養鶏を勧め、ヒヨコや飼料を売る代わりに卵や鶏肉を買い取り、それを都内に卸し、あるいは自社で肉屋・焼き鳥屋を開いて販路を拡大しました。1960年代に三郷市周辺は一大養鶏産地となり、まさに農村という共同体で生業を担い、互助精神による物々交換的な商いを通じて地域と共存してきました。

当社で不動産・住宅建設業が主力となるきっかけも、初めは養鶏場の移転先の紹介から始まり、1964年（昭和34年）に不動産仲介を業として始めました。その後1973年（昭和48年）にJR（当時は国鉄）武蔵野線が開通、みさと団地が誕生し、三郷市周辺も都市化が進みました。養鶏場や農地を廃業し、土地売却、建売住宅化、賃貸住宅経営を望まれる地元のお客様が増えました。このように地域が必要とすること、求めるものに応じて、事業分野や業態をどんどん転換していったのが、松井産業の歴史です。

## 3. 95年かけて地域に「信用と和」築く

地域の実情、お客様の要望に応じて変化し続けることは、松井産業のDNAです。「掘り出し市」も物販だけでなく、DIYによる家の手入れ実演・相談、飲食の模擬店、ビンゴ大会、クイズラリー、ボルダリング、足湯、酸素カプセルと、大人も子供も楽しめるコンテンツを、ご要望に応じて年々増やしてまいりました。

今年創業95周年を迎える松井産業は、このようなイベントを通じて経営理念である『「信用と和」ひとすじに』を実践し、地域に根付いています。



### ◆ このニュースリリースに関するお問い合わせ先 ◆

松井産業株式会社 広報室（広報担当：大山 雅史 携帯：090-9380-4740）

本社所在地：〒341-0003 埼玉県三郷市彦成 1-1

TEL：048-957-3211（水曜日定休） FAX：048-959-2818

e-mail：[kouhou@matsui-sangyou.co.jp](mailto:kouhou@matsui-sangyou.co.jp)

コーポレートサイト：<http://sumo-saitama.jp/>

注文住宅サイト：<http://www.matsui-sangyou.co.jp/>

